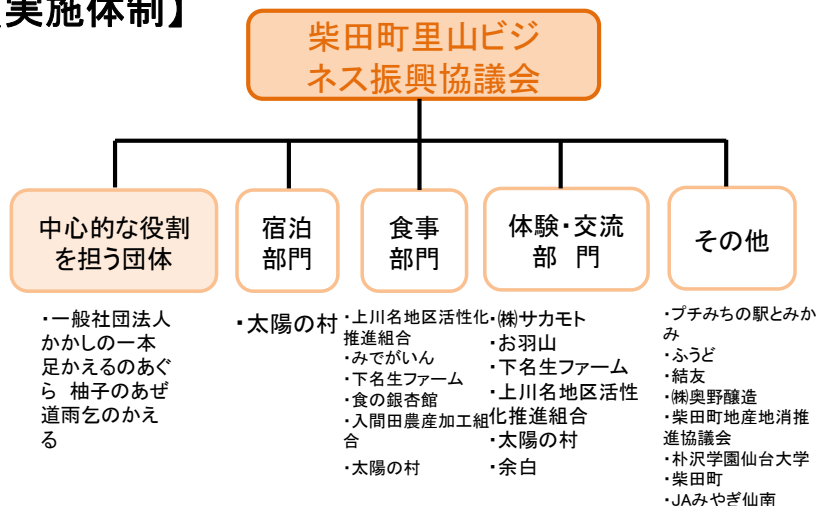


- 各事業者が単体で行っていた農産物の販売や加工を、連携して取組むことで、里山全体をステージとして農泊と融合させる。
- 里山体験の重要な役割を担うガイド育成を行う。現在、里山地域のイベントを担っている年配層の育成に加え、次世代を担う若者の人材育成を行う。
- 平日の稼働率上昇を目標に、インバウンドの取り込みを行う。モニターツアー等を行いながら商品を磨き上げる。

宮城県柴田町



【実施体制】



【特徴的な取組】

- 事業者が連携した里山ビジネスの振興と、集落で暮らせる仕組みづくりの創出

会員事業所の視察見学会



花見弁当研修会



【取組内容】

地域全体として「里山体験ツーリズム」に取り組み、広く地域住民の意識向上と観光客の受入れ体制を構築するため、定期的に農泊ならびに観光に関する研修・勉強会を行う。先ず消費者ニーズ調査に基づき、人材育成・インバウンド対応としてワークショップや研修会を行いながら、体験プログラム開発として農泊につながる体験メニューを整備し、体験型コンテンツの開発・運営における重要な要素であるガイド育成を実施し、モニターツアーや宣伝広告を行う。

- 消費者ニーズ調査
- 人材育成・インバウンド対応
- 農泊や体験を推進するための情報発信
- 体験プログラム開発
 - ・味噌作り体験
 - ・レンタルサイクルの設置とサイクリングツアー
 - ・郷土料理体験
 - ・林業体験
 - ・森林体験ツアー
 - ・パーマカルチャー講座

インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約

【採 択 年 度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度



古民家宿「柚子のあぜ道雨乞のかえる」



柴田町「雨乞の柚子」料理